

山形県教育委員会への質問事項と回答

- ・ 周辺中学校への配慮から中学生の人数を決めるとの説明であったが、高校から入学する生徒との比率はどの程度が適正なのか。

【回答】

内進生と外進生の適正な比率について定説は無いようです。全国の公立の併設型中高一貫教育校の中学校と高校の定員は別紙の表の通りですが、内進生と外進生の比率は 1:0 から 1:10 まで大きな幅があります。効果を評価するための視点や基準は様々考えられ、一概にどれが適正かを評価することは極めて困難であると思われま

- ・ 東桜学館は内進生 99 人に対し外進生 101 人、今回の計画では内進生 99 人に対し外進生 181 人若しくは内進生 66 人に対し外進生 214 人。あまりにも高校からの入学が多く、一貫校の目指す教育を受けられる人数が少なく効果が十分といえるのか。

【回答】

中学校から入学する個々の生徒の視点から見た場合、6 年間の一貫した教育課程が保証されている限り、外進生の人数に関わらず、中高一貫教育の効果は期待できると思われま

す。一方、集団としてみた場合、内進生の比率が極端に小さくなると、外進生の集団の中に内進生の集団が埋没してしまい、内進生がプラスの波及効果を及ぼしにくくなることはあるかもしれません。

別紙の表を参考に全国の公立の併設型中高一貫教育校と比較すると、内進生が最小の 66 人の場合、全生徒の 23.6% で、少ない部類に入り、最大の 99 人の場合、全生徒の 35.4% で、標準的な人数であると言えます。このような全国の状況、庄内地区の今後の小学校卒業生数の見込み、周辺中学校に及ぼす影響等を総合的に判断して適切に定める予定です。

- ・ 周辺中学校への影響はアンケート調査により一定の判断はできるが、高校に対する評価は東桜学館中学生の進路を検証しないと評価できないのでは (平成 36 年度開学を急ぐ意味合いは)。

【回答】

「山形県中高一貫教育校設置構想」では、当面、内陸地区と庄内地区にモデル校を設置し、実践を検証した上で、将来的には県内 4 学区への設置を検討するとしております。県教育委員会では、この方針のもと、既に他県の先進校で成果を上げている実証例が数多くあること、鶴岡市及び庄内開発協議会から設置要望をいただいていることを踏まえ、昨年 10 月に本計画案を公表しました。その時点では、今年度から開校準備に入る想定でしたので、東桜学館同様 6 年間の準備期間を経て、平成 36 年度の開校予定としたものであり、特に開校を急いでいるわけではありません。

- ・秋田県立横手清陵学院、大館国際情報学院の志願倍率が低い理由は。また、新潟県立阿賀黎明中学校・高等学校は募集停止している。要因は何か。

【回答】

他県の学校の志願倍率や募集停止の要因について、憶測で述べることは差し控えさせていただきます。

- ・都道府県市が設置している併設型中高一貫教育校は、ほぼ全て中学校と高校の校舎が同じ敷地内にあるようだが、庄内地区中高一貫校は校舎が離れている。中高一貫教育の効果が十分といえるのか。

【回答】

本県で調査した限りでは、公立の併設型中高一貫教育校の中で、中学校と高校の校舎が分離しているのは、東京都立白鷗高等学校・附属中学校及び佐賀県立武雄高等学校・武雄青陵中学校の2校です。高校改革推進室では、今年2月に後者の学校を訪問し、分離校舎のメリット・デメリットや学校運営上の工夫について取材してまいりました。その報告書については、別紙をご覧ください。

また、東桜学館においても、日常的に中学生と高校生が合同で授業を受けることはあまりなく、中学生と高校生の交流場面は放課後の諸活動や学校行事等がほとんどです。現在の鶴岡南高校校舎と鶴岡北高校校舎の位置関係であれば、生徒が移動してこのような交流を行うことは十分に可能であると考えています。

別紙 表

募集人員については、高校改革推進室が設置自治体のホームページ等により、平成31年度入学者選抜の募集人員を調査したもの。なお、高校の募集人員には、併設型中学校からの進学者を含む。

その他の記載については、平成30年2月に、高校改革推進室が、47都道府県、20政令指定都市、長野市に調査をした結果に基づく。

都道府県市	形態	学校名	募集人員		選抜方法	志願倍率			校舎の 敷地
			中	高		H28	H29	H30	
北海道	中等教育学校	北海道登別明日中等教育学校	80	—	出願理由等説明書、児童の状況調査、作文、面接及び実技の結果を総合的に評価	1.8	1.6	1.8	a
青森県	併設型	青森県立三本木高等学校附属中学校 青森県立三本木高等学校	80	240	適性検査、面接、調査書	1.76	1.49	1.35	a
岩手県	併設型	岩手県立一関第一高等学校附属中学校 岩手県立一関第一高等学校	80(男女各40名)	240	適性検査、作文、面接を実施し、入学志願者の意欲や適性等を総合的に判断して選抜する。	2.05	2.03	2.08	a
宮城県	併設型	宮城県仙台二華中学校 宮城県仙台二華高等学校	105	240	適性検査(総合問題、作文、面接)、調査書	4.63	4.10	4.43	a
宮城県	併設型	宮城県古川黎明中学校 宮城県古川黎明高等学校	105	240	適性検査(総合問題、作文、面接)、調査書	2.28	2.20	1.94	a
秋田県	併設型	秋田県立横手清陵学院中学校 秋田県立横手清陵学院高等学校	70(県外居住者の上限5名)	150	入学願書、報告書、適性検査、作文、面接	0.94	0.94	0.66	a
秋田県	併設型	秋田県立大館国際情報学院中学校 秋田県立大館国際情報学院高等学校	70(県外居住者の上限5名)	150	入学願書、報告書、適性検査、作文、面接	1.33	0.84	0.81	a
秋田県	併設型	秋田県立秋田南高等学校中等部 秋田県立秋田南高等学校	80(県外居住者の上限5名)	240	入学願書、報告書、適性検査、作文、面接	4.25	2.58	2.43	a
山形県	併設型	山形県立東桜学館中学校 山形県立東桜学館高等学校	99(男女同数程度)	200	適性検査、作文、調査書、集団面接	2.68	2.40	2.24	a
福島県	併設型	福島県立会津学鳳中学校 福島県立会津学鳳高等学校	90	240	適性検査、作文、面接、調査書	2.53	1.99	2.06	a
茨城県	併設型	茨城県立日立第一高等学校附属中学校 茨城県立日立第一高等学校	80(男女各40人程度)	240	適性検査、面接	3.19	3.03	3.13	a
茨城県	中等教育学校	並木中等教育学校	160(男女各80人程度)	—	適性検査、面接	4.17	4.47	3.92	a
茨城県	中等教育学校	古河中等教育学校	120(男女各60人程度)	—	適性検査、面接	2.53	2.22	2.11	a
栃木県	併設型	宇都宮東高等学校 宇都宮東高等学校附属中学校	105(男女のいずれかが6割を超えない)	160	適性検査、作文、面接	4.58	4.48	4.53	a
栃木県	併設型	佐野高等学校 佐野高等学校附属中学校	105(男女のいずれかが6割を超えない)	160	適性検査、作文、面接	2.85	2.47	2.35	a
栃木県	併設型	矢板東高等学校 矢板東高等学校附属中学校	70(男女のいずれかが6割を超えない)	160	適性検査、作文、面接	2.64	2.90	2.84	a
群馬県	中等教育学校	群馬県立中央中等教育学校	120(男女各60人)	—	適性検査Ⅰ・Ⅱ 面接	4.1	3.8	4.0	a

埼玉県	併設型	埼玉県立伊奈学園中学校 埼玉県立伊奈学園総合高等学校	80	800	作文、調査書、面接	5.40	5.10	4.60	a
千葉県	併設型	千葉県立千葉中学校 千葉県立千葉高等学校	80(男女同数を基本とする)	320	一次検査(適性検査1-1、1-2) 二次検査(適性検査2-1、2-2、面接)	9.9	9.6	9.0	a
千葉県	併設型	千葉県立東葛飾中学校 千葉県立東葛飾高等学校	80(男女同数を基本とする)	320	一次検査(適性検査1-1、1-2) 二次検査(適性検査2-1、2-2、面接)	14.0	12.0	10.3	a
東京都	中等教育学校	東京都立小石川中等教育学校	160(男女同数)	-	【一般枠募集】 報告書、適性検査 【特別枠募集】 報告書、面接、作文	6.57	6.44	6.70	a
東京都	中等教育学校	東京都立桜修館中等教育学校	160(男女同数)	-	【一般枠募集】 報告書、適性検査	6.71	6.18	5.82	a
東京都	中等教育学校	東京都立立川国際中等教育学校	160(うち30を除いて、男女同数)	-	【一般枠募集】 報告書、適性検査 【海外帰国・在京外国人枠募集】	5.55	5.68	4.99	a
東京都	中等教育学校	東京都立南多摩中等教育学校	160(男女同数)	-	【一般枠募集】 報告書、適性検査	5.59	4.92	5.26	a
東京都	中等教育学校	東京都立三鷹中等教育学校	160(男女同数)	-	【一般枠募集】 報告書、適性検査	6.63	6.10	5.98	a
東京都	併設型	東京都立白鷗高等学校 東京都立白鷗高等学校附属中学校	160(うち24を除いて、男女同数)	240	【一般枠募集】 報告書、適性検査 【特別枠募集】 報告書、面接、実技試験	6.81	6.57	7.37	b 約0.4km
東京都	併設型	東京都立両国高等学校 東京都立両国高等学校附属中学校	120(男女同数)	200	【一般枠募集】 報告書、適性検査	8.36	6.83	6.43	a
東京都	併設型	東京都立武蔵高等学校 東京都立武蔵高等学校附属中学校	120(男女同数)	200	【一般枠募集】 報告書、適性検査	4.86	4.45	4.46	a
東京都	併設型	東京都立富士高等学校 東京都立富士高等学校附属中学校	120(男女同数)	200	【一般枠募集】 報告書、適性検査	4.94	5.44	5.03	a
東京都	併設型	東京都立大泉高等学校 東京都立大泉高等学校附属中学校	120(男女同数)	200	【一般枠募集】 報告書、適性検査	7.31	6.74	7.10	a
神奈川県	中等教育学校	神奈川県立平塚中等教育学校	160(男女各80名)	-	適性検査及びグループ活動による検査	4.76	5.09	5.28	a
神奈川県	中等教育学校	神奈川県立相模原中等教育学校	160(男女各80名)	-	適性検査及びグループ活動による検査	6.54	7.70	8.02	a
新潟県	併設型	新潟県立阿賀黎明中学校 新潟県立阿賀黎明高等学校	募集停止	40	H30募集停止のため実施していない	0.15	0.15	なし	a
新潟県	中等教育学校	新潟県立村上中等教育学校	80	-	作文、グループ活動、面接	1.27	1.68	1.11	a
新潟県	中等教育学校	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	80	-	作文、グループ活動、面接	0.93	0.86	0.83	a
新潟県	中等教育学校	新潟県立燕中等教育学校	80	-	作文、グループ活動、面接	1.00	1.38	1.10	a
新潟県	中等教育学校	新潟県立津南中等教育学校	80	-	作文、グループ活動、面接	0.78	0.90	0.58	a

新潟県	中等教育学校	新潟県立直江津中等教育学校	120	-	作文、グループ活動、面接	1.35	1.45	1.26	a
新潟県	中等教育学校	新潟県立佐渡中等教育学校	80	-	作文、グループ活動、面接	0.57	0.55	0.63	a
石川県	併設型	石川県立金沢錦丘中学校 石川県立金沢錦丘高等学校	120	320	調査書、適性検査、個人面接	2.18	1.64	2.09	a
福井県	併設型	福井県立高志中学校	90	250	適性検査、作文	3.51	3.74	3.79	a
長野県	併設型	長野県屋代高等学校附属中学校	80(男女同数)	280	適性検査、報告書、集団面接	4.81	4.35	4.09	a
長野県	併設型	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	80(男女同数)	240	適性検査、報告書、集団面接	3.23	3.28	2.58	a
静岡県	併設型	静岡県立浜松西高等学校・同中部	160	240	総合適性検査、作文、面接、調査書	2.90	2.57	2.15	a
静岡県	併設型	静岡県立清水南高等学校・同中部	120	160	総合適性検査、作文、面接、調査書	1.28	1.25	1.24	a
滋賀県	併設型	滋賀県立河瀬中学校 滋賀県立河瀬高等学校	80	240	作文、適性検査、集団面接、個人調査報告書	2.48	2.06	1.99	a
滋賀県	併設型	滋賀県立守山中学校 滋賀県立守山高等学校	80	280	作文、適性検査、集団面接、個人調査報告書	5.04	5.43	4.51	a
滋賀県	併設型	滋賀県立水口東中学校 滋賀県立水口東高等学校	80	240	作文、適性検査、集団面接、個人調査報告書	1.80	1.56	1.53	a
京都府	併設型	京都府立洛北高等学校附属中学校 京都府立洛北高等学校	80	280	面接、適性をみる検査、報告書	4.54	4.68	3.73	a
京都府	併設型	京都府立南陽高等学校附属中学校 京都府立南陽高等学校	40	360	面接、適性をみる検査、報告書	-	-	3.35	a
京都府	併設型	京都府立園部高等学校附属中学校 京都府立園部高等学校	40	170	面接、適性をみる検査、報告書	1.45	1.58	1.68	a
京都府	併設型	京都府立福知山高等学校附属中学校 京都府立福知山高等学校	40	240	面接、適性をみる検査、報告書	2.18	2.58	2.30	a
大阪府	併設型	大阪府立富田林中学校 大阪府立富田林高等学校	120	240	適性検査、作文	-	5.03	4.14	a
兵庫県	中等教育学校	兵庫県立芦屋国際中等教育学校	80	-	志願理由書、作文、面接等に基づき総合的に選考	3.64	3.41	3.53	a
奈良県	併設型	奈良県立青翔中学校 奈良県立青翔高等学校	80	0(高等学校からの募集はない)	適性検査1、適性検査2、面接、調査書	1.63	1.29	1.35	a
和歌山県	併設型	和歌山県立橋本高等学校 和歌山県立古佐田丘中学校	40	200	適性検査I・II、作文(600字程度)の検査及び面接(一人5分程度の個人面接)	2.03	2.28	2.13	a
和歌山県	併設型	和歌山県立向陽高等学校 和歌山県立向陽中学校	80	320	適性検査I・II、作文(600字程度)の検査及び面接(一人5分程度の個人面接)	4.43	3.94	3.91	a

和歌山県	併設型	和歌山県立桐蔭高等学校 和歌山県立桐蔭中学校	80	280	適性検査Ⅰ・Ⅱ、作文(600字程度)の検査及び面接(一人5分程度の個人面接)	3.98	3.91	3.15	a
和歌山県	併設型	和歌山県立日高高等学校 和歌山県立日高高等学校附属中学校	40	240	適性検査Ⅰ・Ⅱ、作文(600字程度)の検査及び面接(一人5分程度の個人面接)	1.25	1.63	1.30	a
和歌山県	併設型	和歌山県立田辺高等学校 和歌山県立田辺中学校	80	320	適性検査Ⅰ・Ⅱ、作文(600字程度)の検査及び面接(一人5分程度の個人面接)	1.65	1.60	1.63	a
岡山県	併設型	岡山県立岡山操山中学校 岡山県立岡山操山高等学校	120	280	適性検査、面接、調査書	3.7	3.6	3.1	a
岡山県	併設型	岡山県立倉敷天城中学校 岡山県立倉敷天城高等学校	120	240	同上	3.0	2.7	3.3	a
岡山県	併設型	岡山県立津山中学校 岡山県立津山高等学校	80	240	同上	2.7	2.7	2.6	a
岡山県	中等教育学校	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	160	-	同上	4.0	3.2	3.7	a
広島県	併設型	広島県立広島中学校 広島県立広島高等学校	160	240	適性検査、志望理由書、調査書	4.96	5.78	5.66	a
山口県	中等教育学校	山口県立下関中等教育学校	105	-	調査書、面接(個人)、記述式の課題1、記述式の課題2による選考検査	1.40	1.50	1.68	a
山口県	併設型	山口県立高森みどり中学校 山口県立高森高等学校	40	105	調査書、面接(個人)、記述式の課題1、記述式の課題2による選考検査	1.72	1.72	1.18	a
徳島県	併設型	徳島県立城ノ内中学校 徳島県立城ノ内高等学校	140	200	適性検査、調査書、集団面接	3.11	2.73	2.59	a
徳島県	併設型	徳島県立富岡東中学校 徳島県立富岡東高等学校	80	200	適性検査、調査書、集団面接	2.33	2.15	2.16	a
徳島県	併設型	徳島県立川島中学校 徳島県立川島高等学校	60	140	適性検査、調査書、個人面接	1.12	1.13	1.03	a
香川県	併設型	高松北中学校・高等学校	105	240	適性検査(作文・総合)・面接・調査書				a
愛媛県	中等教育学校	愛媛県立今治東中等教育学校	160	-	中等教育学校長は、入学志願理由書、調査書並びに作文、適性検査及び面接の結果を資料として、当該中等教育学校の特色を踏まえ、入学志願者の意欲や適性等を総合的に判断して、入学予定者を選考する。	0.79	0.92	0.66	a
愛媛県	中等教育学校	愛媛県立松山西中等教育学校	160	-		2.08	1.85	1.99	a
愛媛県	中等教育学校	愛媛県立宇和島南中等教育学校	160	-		1.14	1.17	0.77	a
高知県	併設型	高知県立安芸中学校 高知県立安芸高等学校	60(男女同数程度)	120	志願理由書、適性検査、作文、面接	0.98	0.60	0.90	a
高知県	併設型	高知県立高知南中学校 高知県立高知南高等学校	60(男女同数程度)	240	志願理由書、適性検査、作文、面接	1.58	1.50	2.32	a
高知県	併設型	高知県立高知国際中学校 高知県立高知国際高等学校	60(男女同数程度)	280(予定)	志願理由書、適性検査、作文、面接	※中学校はH30年、高校はH33年開校。		3.98	a

高知県	併設型	高知県立中村中学校 高知県立中村高等学校	70(男女同数程度)	200	志願理由書、適性検査、作文、面接	1.41	1.24	1.03	a
福岡県	併設型	育徳館中学校 育徳館高等学校	120	200	面接、適性検査、作文	2.08	1.79	1.85	a
福岡県	併設型	門司学園中学校 門司学園高等学校	120	160	面接、適性検査、作文	2.21	1.75	1.81	a
福岡県	併設型	宗像中学校 宗像高等学校	80	320	面接、適性検査、作文	5.59	4.63	4.55	a
福岡県	併設型	嘉穂高等学校附属中学校 嘉穂高等学校	80	320	面接、適性検査、作文	4.49	3.94	3.81	a
福岡県	中等教育学校	輝翔館中等教育学校	120	-	面接、適性検査、作文	1.23	1.33	1.07	a
佐賀県	併設型	佐賀県立香楠中学校 佐賀県立鳥栖高等学校	120(原則として男女同数)	240	適性検査、面接の結果及び調査書を総合的に審査	2.53	1.98	2.48	a
佐賀県	併設型	佐賀県立致遠館中学校 佐賀県立致遠館高等学校	120(原則として男女同数)	240	適性検査、面接の結果及び調査書を総合的に審査	3.26	3.01	2.78	a
佐賀県	併設型	佐賀県立唐津東中学校 佐賀県立唐津東高等学校	120(原則として男女同数)	240	適性検査、面接の結果及び調査書を総合的に審査	3.04	3.18	2.84	a
佐賀県	併設型	佐賀県立武雄青陵中学校 佐賀県立武雄高等学校	120(原則として男女同数)	240	適性検査、面接の結果及び調査書を総合的に審査	2.15	2.27	2.08	b 約1km
長崎県	併設型	長崎県立長崎東中学校 長崎県立長崎東高等学校	120(男女同数程度)	280	適性検査、作文、集団面接、調査書	3.24	3.77	3.39	a
長崎県	併設型	長崎県立佐世保北中学校 長崎県立佐世保北高等学校	120(男女同数程度)	240	適性検査、作文、集団面接、調査書	2.66	3.08	2.55	a
長崎県	併設型	長崎県立諫早高等学校附属中学校 長崎県立諫早高等学校	120(男女同数程度)	280	適性検査、作文、集団面接、調査書	2.77	2.93	2.55	a
熊本県	併設型	熊本県立玉名高等学校附属中学校 熊本県立玉名高等学校	80	280	適性検査、面接、調査書	1.99	1.99	1.75	a
熊本県	併設型	熊本県立宇土中学校 熊本県立宇土高等学校	80	240	適性検査、面接、調査書	1.78	2.00	1.93	a
熊本県	併設型	熊本県立八代中学校 熊本県立八代高等学校	80	240	適性検査、面接、調査書	2.25	1.91	1.99	a
大分県	併設型	大分豊府中学校 大分豊府高等学校	120	280	適性検査、面接	2.9	2.6	2.4	a
宮崎県	中等教育学校	五ヶ瀬中等教育学校	40	-	作文、適性検査、集団面接、調査書	2.7	2.8	2.8	a
宮崎県	併設型	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 宮崎県立宮崎西高等学校	80	360	作文、適性検査、集団面接、調査書	3.6	3.5	3.8	a
宮崎県	併設型	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	40	280	作文、適性検査、集団面接、調査書	3.7	3.6	3.2	a

鹿児島県	併設型	鹿児島県立楠隼中学校 鹿児島県立楠隼高等学校	60	90	適性検査、面接、調査書	3.67	2.38	2.02	a
沖縄県	併設型	沖縄県立与勝緑が丘中学校 沖縄県立与勝高等学校	80(男女同数程度)	160	適性検査、調査書、面接	2.21	2.00	2.14	a
沖縄県	併設型	沖縄県立球陽中学校 沖縄県立球陽高等学校	40(男女同数程度)	280	適性検査、調査書、面接	9.03	9.63	7.78	a
沖縄県	併設型	沖縄県立開邦中学校 沖縄県立開邦高等学校	40(男女同数程度)	240	適性検査、調査書、面接	12.00	13.32	12.70	a
札幌市	中等教育学校	札幌市立札幌開成中等教育学校	160(男女各80名)	-	調査書、適性検査、グループ活動	5.68	4.38	4.38	a
仙台市	中等教育学校	仙台市立仙台青陵中等教育学校	140	-	適正検査、作文、面接、調査書	2.30	2.75	2.70	a
さいたま市	併設型	さいたま市立浦和中学校・高等学校	80(男女同数)	360	適性検査(3種類)、面接(個人・集団)、調査書	5.59	6.05	6.16	a
千葉市	併設型	千葉市立稲毛高等学校附属中学校 千葉市立稲毛高等学校	80(男女各40名)	240	適性検査、面接、報告書、志願理由書	8.40	8.50	7.20	a
横浜市	併設型	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	80(男女各40名)	240	調査書、適性検査	-	8.56	7.08	a
横浜市	併設型	横浜市立南高等学校附属中学校 横浜市立南高等学校	160(男女おむね各80)	200	調査書、適性検査	7.99	6.41	5.34	a
川崎市	併設型	川崎市立川崎高等学校附属中学校 川崎市立川崎高等学校	120	160	適性検査(作文含む)、面接、調査書	4.61	4.36	4.46	a
新潟市	中等教育学校	新潟市立高志中等教育学校	120	-	作文、適性検査、面接等による選考検査	1.33	1.53	1.44	a
長野市	併設型	長野市立長野中学校 長野市立長野高等学校	70(男女同数を基本とする)	160	適性検査、作文、報告書、集団面接		2.96	2.06	a
京都市	併設型	京都市立西京高等学校附属中学校 京都市立西京高等学校	120	280	適性検査、面接、報告書	4.63	4.61	4.53	a
大阪市	併設型	大阪市立咲くやこの花中学校 大阪市立咲くやこの花高等学校	80	160	適性検査、集団面接	5.36	5.58	4.96	a
岡山市	併設型	岡山市立岡山後楽館中学校 岡山市立岡山後楽館高等学校	80	240	調査書、課題作文、面接	1.64	1.51	1.66	a
広島市	中等教育学校	広島市立広島中等教育学校	120	-	適性検査、面接、志願理由書、調査書	4.27	4.33	4.04	a

※募集人員の欄で、「中等教育学校」は中学校の欄に記入。

※選抜方法及び志願倍率の欄で、「併設型」の場合は中学校について記入。

※校舎の敷地の欄について

a・・・中学校と高校の校舎が同じ敷地内にある

b・・・中学校の敷地と高校の敷地が分離している(距離は、両校の直線距離。)

※中等教育学校は、中学校を前期課程、高校を後期課程と読み換える。

1 学校概要

- 沿革
 - 昭和 24 年 武雄高等女学校と武雄中学校が統合し、武雄高校開校
 - 昭和 57 年 武雄高校と武雄青陵高校の 2 校に分割
 - 平成 19 年 武雄高校（当時 1 学年 5 学級）と武雄青陵高校（当時 1 学年 3 学級）を統合し、武雄高校（1 学年 7 学級）、武雄青陵中学校（1 学年 4 学級）が開校
武雄高校校舎を高校校舎、武雄青陵高校校舎を中学校校舎として活用
（校舎間距離は 1.7km、徒歩約 30 分）
※武雄高校はかつてから地区（西部学区）の基幹校であり、武雄市内唯一の高校（武雄市の人口は 4.88 万人）平成 30 年度に創立 110 周年を迎える。
- 学校規模 武雄高校（1 学年 240 名、6 学級〔武雄青陵中生 3 学級、市町中生 3 学級〕）
武雄青陵中学校（1 学年 120 名、3 学級）
※中学校は平成 25 年度から 1 学級減、高校は平成 28 年度から 1 学級減
- 武雄青陵中学校入学志願倍率
H28 入試 2.15 倍 H29 入試 2.27 倍 H30 入試 2.08 倍
- 進学実績（平成 29 年 3 月新卒者）
国公立大 154 内、医学部医学科 5
（内訳）東京大 1、京都大 3、九州大 1 2、広島大 9、佐賀大 28 など
※1 年から武雄青陵中生・市町中生混合クラス編成、習熟度別授業実施。
入学当初は武雄青陵中生が上位だが、切磋琢磨することより実績が上昇。
- 部活動 少林寺拳法、テニス、バドミントン、弓道で全国大会出場（H29 年度）
- 中高の校舎が分離しているが、両校の中間地域に、武雄市の体育施設、図書館、文化会館などが配置されており、合同の行事が取り組みやすい環境にある。

2 学校運営上の工夫

- 中高の教員の連携した指導
 - ・ 高校教員による交流授業は行っていないが、先取り学習の指導については、あらかじめ中学校に高校籍の教員を、中学籍の教員より多く配置することにより十分に対応している。
 - ・ 教科担当者会、中学校授業参観相互研修会を合同で実施している。また、全体での中高一貫推進委員会を年 3 回程度実施している。
- 6 年間の継続的・計画的・効果的な教育活動の実施
 - ・ 中高校舎が分離していることに配慮し、6 年間で 4 つのステージに分け、きめ細かな指導を実施している。
 - ①基礎定着期（中 1・2） ②基礎充実期（中 3）
 - ③自己拡充期（高 1） ④自己確立期（高 2・3）
 - ・ 他の中高一貫校と同様、教育課程の特例を生かした教育課程の編成（国数）がなされており、問題はない。
 - ・ 年度当初を中心に模試の分析会に中学校教員も参加し、学力状況を共有している。

○ 中高間での速やかな意思決定

- ・ 高校・中学校にそれぞれ校長を配置することで対応している。
- ・ 以前は、職員の打合せや研修会にWeb会議システムも活用していたものの、リハーサルに手間がかかることや画像の精度などに課題があり減っている。

○ 部活動や生徒会、学校行事等で、中高の生徒の十分な交流

- ・ 中高の生徒がかかわる場面を設定することで十分交流が図られており、学校としての一体感もある。
- ・ 夏季休業中の1日にジョイントスタディを実施
(高2が中2に、高1が中1の生徒に学習を教える)
- ・ 武雄高校での武雄青陵中学生の授業体験(8月・3月)の実施
- ・ 合同行事の実施(開校記念遠足、芸術鑑賞会、中高合同の「探究」発表会など)
- ・ 合同の部活の実施(中学校の要請により、弓道、バスケットボール)
高校教員が副顧問として中学生を指導する場面もある。

3 中高の校舎が分離していることによる利点

○ 中学校施設として充実した施設・設備の活用が可能である。

○ 日課表を高校と合わせる必要がない。

○ 異年齢集団との交流といった中高一貫校の利点を生かしつつ、一体型の中高一貫校では不足しがちな中学校の段階でのリーダーシップを育むことができる。

- ・ 学校行事や生徒会、部活動の運営面で、中学校中心の行事をバランスよく設けることで、リーダーシップを育んでいる。

○ 生徒はメリハリのある学校生活を送っている。

- ・ 高校進学時に校舎が変わることで、気持ちの切り替えが生じる。高校進学に向けた指導の点でも中だるみの防止につながっている。

4 中高の校舎が分離していることによる課題

○ 中学生は、高校生の毎日の活動の姿をみることができない。

○ 中学校教員と高校教員の日常的な情報交換が難しい。

県教委、学校とも中高分離校舎で中高一貫教育に支障が生じているとは考えていない。